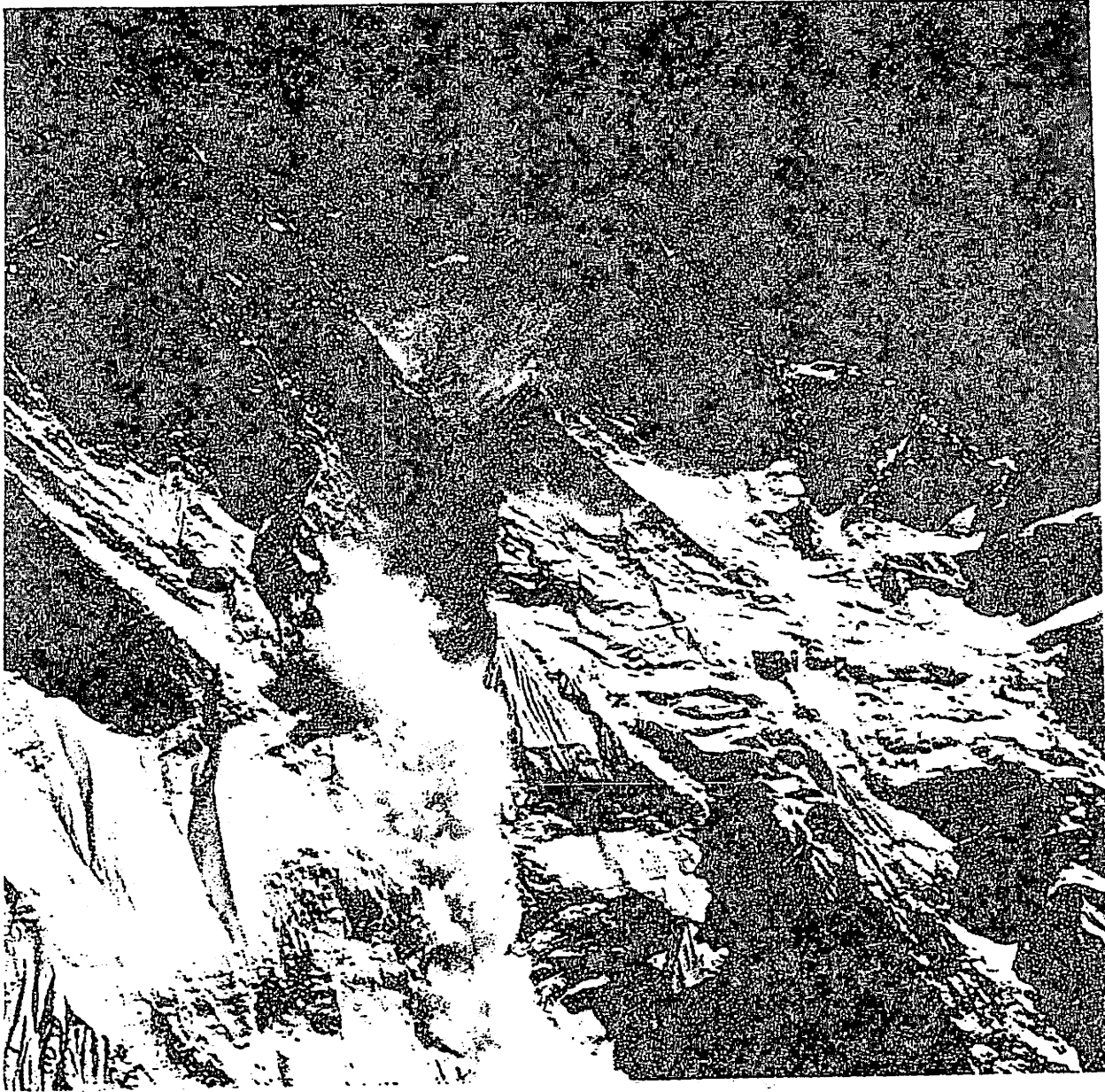


# 1990 夏山行報告書



信州大学山岳会

## 目次

1	天山登山隊仮報告書	1-2
2	屏風 雲稜	3
3	： 東稜	3
4	北岳 パト入	3
5	ハッ岳 縦走	4
6	三峰川	4-5
7	赤岳 沢	5
8	南岳 縦走	5-6
9	北岳 ：	6-8
10	北嶺 ムツタリ山	8-9
11	黄連谷	9-10
12	滝谷	10-11
13	奥又	11-12
14	奥又 ムツタリ山	12-13
15	屏風 東稜 雲稜	13-14
16	奥又	14-15
17	屏風 雲稜	15
18	： 東壁 ムツタリ山	16
19	中岳 西横川	16
20	文登研	16-18
21	全国山岳遭難対策協議会の報告	18-19
22	夏合宿	19-28
23	係の反省	28-29
24	リーダーの言葉	30
25	反省	30-33
26	作文	33-35

## 天山登山隊仮報告

- ・ 隊の名称 1990年信州大学学士山岳会天山登山隊
- ・ 目的 ソビエト連邦スポーツ委員会主催、ハン・テングリ国際キャンプ  
中部天山テングリオーラ山塊ハン・テングリ峰(7010m) 登頂
- ・ 隊の構成 隊長：渡部光則 (S.51農学部卒)  
隊員：吉田秀樹 (s.56人文学部卒)  
浦山大介 (現役部員4年)  
\* 渡部は都合により7/20に日本を出発

### 行動概要

7/13~7/18 新潟空港よりハバロフスク経由でカザフ共和国首都アルマアタへ。ここで国際キャンプ参加者が集合し、カルカラ中間キャンプ(2200m)へ移動。7/16に中間キャンプ付近の3680m ピークへ登り、BC(4000m)へ上がるための高所順応を行う。

7/19 南イヌリチェク氷河上BC(4000m)へ、ヘリコプターで移動する。

\* 登山ルートはソ連側の都合により、北面ソロマトフルートから南面ボグレベッキールートに変更される。

7/20~7/24 登山ルートにて5900m(C3)まで高所順応を行う。7/23に隊長の渡部がBC入りする。

7/25~7/26 BCにて休養。

7/27~8/1 吉田、浦山で第一次アタックを行う。C1でデポした装備(アイゼン、ユマールなど)が紛失するというアクシデントが発生するが、ソ連人スタッフに紛失した装備を借用し、事なきを得る。7/31(快晴)にC3(5900m)よりアタック。15:20に吉田、浦山の両名がピークに立つ。この間遅れて入山した渡部は勤労者山岳会パーティの山本氏と共に7/27~7/30の間C3までの高所順応を行う。8/2はBCにてREST。

8/3~8/7 渡部、吉田で、第二次アタックを行う。浦山はC3まで2名をサポート。8/6にアタックを行うが、タイムオーバーのため6700mにてアタックを断念。

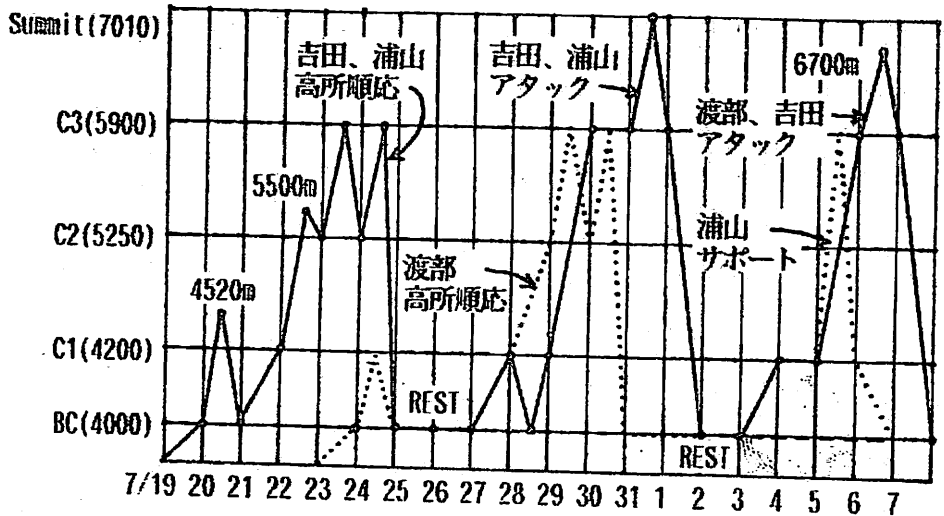
8/8~8/10 往路と同じ経路で帰国する。

### ルート状況

BCは南イヌリチェク氷河のサイドモレーン上(4000m) BCから、C1までは氷河上を適当に遡行し、C1からは、傾斜の緩いセミヨーノフスキー氷河をC3のコルまで詰める。C2直下にはチャパーエフ峰からの雪崩危険箇所有り。C2は

アイスフォール帯。C3はコル直下で雪洞有り。C3からPeakまでは吹きさらしの急峻な岩稜でソ連スタッフによる Fix有るが、総じて張り方が悪い。核心の大クローアール (6800m)を抜けると、後はPeakまで緩い雪稜が続く。

高所順応表



### СХЕМА МАРШРУТА НА В. ХАН-ТЕНГРИ



文責: Дайсуке Ураяма

屏風岩雲稜 L 兼岩, 橋口

6/22 上高地 — 横尾 B.C 6/23 B.C 3:45 — T4 取付 5:00  
— 7:00 雲稜 取付 — 7P 終了 12:30 — 屏風の頭 — B.C 4:10

1P日、かぶり気味のヒコ3(80%15%)岩が浮いている。4P日、フレークが今にも  
作られそう。5P日のルツセは、快適。最後のかば場登りは、落石  
注意。屏風の頭よりピラマとの合流点までヒキ、棚淵沢側の踏み  
跡を下る。残雪が多いとき、ヒキも速いでしょう。雲稜は、AIが  
1Pしかなく、快適な A0!? ルートでした。(記兼岩)

屏風岩東稜 L 加藤 長谷川

6/23 ①横尾 B.C 3:45 — T4 取付 5:30 — 開始 6:30 —  
— 1ピッチ — 7:20 T2 — 7:45 開始 — 13:55 終了 —  
— 7ピッチ (15, 20, 20, 20, 40, 20, 30) — 14:30 下降 —  
— 17:45 T4 尾根基部 — 19:15 B.C

6/22 入山, 6/24 下山は雲稜隊と同じ。

T4 尾根は下部にフィックスがあり、上部 1ピッチのみ。東稜は  
大系どおり。

記 加藤

北岳バットレス (ピラミッドフェース ~ オ4尾根) L 補山 河西

6/23 ① 11:30 広河原 ———— ① 13:45 白根御池 BC

6/24 ① 3:50 BC ———— ① 5:50 取付 6:10 登攀開始

大系の 1ピッチ目は雪に埋没していた。

- ピラミッドフェース: ① 草付バント 40m II, ② フェース 35m IV+
  - ③ フェース 20m III+, ④ バント 15m II, ⑤ 逆層フェース 20m IV
  - ⑥ コーナー 15m V, ⑦ フラックフェース 30m IV+ ⑧ 逆層フェース 30m IV
- 8ピッチでピラミッドフェースを終了して横断バントを 20m トラバース  
してオ4尾根へ取付く (10:30) 先行 10-ティ 待ちで 11:30 開始
- オ4尾根: ① 30m III+, ② 35m III, ③ 40m III 白い岩, ④ 20m III
  - ⑤ 35m V のフェースからリッジ, 10m ケンスイ ⑥ 25m III
  - ⑦ 35m III ⑧ 15m II (14:30)

① 15:05 北岳 ———— ① 17:10 BC 17:55 終 ———— ① 19:20  
広河原

なかなかおもしろいルート。中央稜に継続すればさらによいでしょう。(記、河西)

6月23~24日八ヶ岳縦走 [ 藤江 伴野 笹森 ]

6/23 美濃戸口 10550 - 14100 行路 1 暁 BC

6/24 BC 0325 - 0450 赤岳 - 硫黄 - 11000 BC 1200 - 1420 美濃戸  
八ヶ岳はワンゲル天国であった。

千丈ヶ岳 三ヶ峰川

↳ 植垣 小久保 牧野

7/22 中原タクシで大曲りへ

6:55 ○

大曲り

9:15

熊沢出合い

水量が少なくて心配したが、ダムを過ぎると  
水量は豊富。

9:40

林道 終点

山菜取りオヤジにビールをもらった。

酒の量は合計で約 11 kg となった。

10:55

大横川出合い T.S.

小久保とんがイワナを1匹きつる。塩焼きにする。

7/23

5:45 ○

T.S.

8:15 ○

鬼台谷出合い

大休止 つりをする (つれな) "

11:45 ○

飛

12:00 ○

岳沢出合い T.S.

イワナがつかないため、アザミの根、ことぶ、さるわか  
ちゃんとして天ぷらをつくる。

20:00 頃から雷が鳴り、どしゃぶりとなる。

22:00 に本流から離れたところへ引越す。

7/24

8:35 ○

T.S.

10:25 ○

無名沢出合い

雨が降りそうなので、岩小屋沢はやめて無名沢を登る。

12:35 ○

地蔵尾根の支尾根 2600m

千丈ヶ岳

壁藪小屋 T.S.

晩のおかずはお茶漬の天ぷら。

7/25

避難小屋  
北沢峠

※ 三ヶ峰川にはシカもキツネもヘビもモグラもサニショウウオもたくさんいたが、イワナは1匹きしかいなかった。

たき木と酒だけはオニのようであった。(記. 植垣)

八ヶ岳 赤岳沢 L. 長谷川・加藤・兼光

7/21

林道途中 10:45 — 12:45 出合小屋

河原に2ついで2つあるだけ林道を歩いたほうが乗。小屋は良行。

7/22

出合小屋 4:35 — 9:45 縦走路 — 13:10 出合小屋

四段の滝(実際は三段)は3つ詰め2右岸から上。高く  
まきすきると、河原に降石のせいで、幅広の3mの滝(下系  
記述)の少し上の5mの滝は右岸をまたが岩がホロクサ  
いと出ず、ピンポイント。3つは3つ。この滝はまた、直登し  
たほうが乗になる。(おすかしくないと思う。) 2つは他  
の2つに1つだけ直登。下系の記述には3つ滝や釜  
の実際には無いものがある。源頭には雪ケイ有り。  
例年の11月以降は3つ。最後の7mはカレたより落石注意。  
全体に明るい場所。降水は7月後半以降は降  
下部はササによぶ山の中をいりか マンクもよくまわり  
はぬ。

記 長谷川

7月21日~31日 南アルプス縦走 藤江 田尻 伴野 榎手

7/21 西沢道 0430 - 1305 聖岳 北方 2480m TS

ヤシタ場は2張ほどかたまる。木場はたのめがたまる。

7/22 TS 0445 - 0730 聖岳 0830 - 1155 赤岳 1215 - 1820 百間湖 TS  
小屋-聖岳の間は木場がイグ。聖-赤岳間は一部ルナカ枝線がたまる  
が気かかずに枝線を行くとハマツタギに悩まされる。

7/23 TS05050 - 1115 赤石岳 - 1515 荒川小屋 TS

7/24 TS06050 - 中岳 0840 - 1225 高山裏 TS

7/25 TS05500 - 0950 小内岳 1020 - 1240 三伏沢小屋 TS

7/26 TS05100 - 0955 塩見岳 1030 - 1210 雪投沢 TS  
雪投沢はひくろても元が張る。番稜線の上の所に張ると木場往復1分

7/27 TS0545 - 0630 北荒川岳 0640 - 1055 三国峠 - 木種 - 1300 豊島小屋 TS

7/28 TS04150 - 0510 濃島岳 0525 - TS - 0850 間岳 0910 -  
1210 北岳 1230 - 1300 肩, 小屋 TS

7/29 TS05050 - 0800 両俣 0815

7/29 TS05050 - 0940 活俣 1000 - 1340 高望池 TS

7/30 TS05050 - 0825 仙丈岳 0845 - 北沢滝小屋 1140

7/31 TS04450 - 六ヶ石 - 0820 甲斐駒 0850 - 1605 横寺

南アは北ア行くほど人が着る。

夏山系徒走 北ア 立山 ~ 上高地

△ 橋口 福山 笹森

7/26 雪鳥沢 4:30 ○

奥大日 7:00 ●キ

雪鳥沢 8:35 ●ッ

奥大日は登山道からやや離れた戸にあるので  
ガスとわがりづらいたまに山にも行く予定であったが  
雨のため中止



7/27 雷鳥沢 3:45 ○  
一ノ越 7:00 ○  
五色橋 1:10 ○

一ノ越には舗装道路がある。  
五色橋にはよいヤシ天があるが朝刈  
りから気をつけておいた。

7/28 五色橋 4:05 ○  
越中沢岳 4:05 ○  
スゴ乗越 1:35 ○

越中沢岳からスゴ乗越へ行く時キスグ  
ではけこうを所がた。

7/29 スゴ乗越 3:50 ○  
薬師岳 10:10 ○  
薬師岳 12:35 ○

7/30 薬師岳 4:05 ○  
雲ノ平 2:15 ○

薬師岳にはよいヤシ天がある。  
雲ノ平へは、1マツエギがキスグだとあつ  
つらい様だ。

7/31 雲ノ平 4:55 ○  
三俣葦葉 4:10 ○  
双六小屋 10:35 ○

三俣葦葉からの眺めはすばらしい

8/1 双六小屋 3:40 ○  
扇ノ小屋 9:05 ○  
橋ノ岳 9:20 ○  
水田公園 2:50 ○

橋にのぼればよかつた 横尾根の下りは  
捷高の岩稜みらいを 水河公園はるはる川  
天場である

8/2 水河公園 4:30 ①  
サマ天 11:30 ①

無事にサマ天に到着してよかつた  
北鎌尾根 ~ ジャンダルム L 牧野. 小久保. 河西

7/27 ① 17:15 七倉 ——— ① 18:15 高瀬ダム下 TS.

7/28 ① 4:15 TS 巻 ——— ① 7:15 湯俣 8:00まで噴湯丘見物  
——— ① 10:30 千天出合い ——— ① 12:30 北鎌沢出合い.

湯俣までは道がよいがそこから先は所々不明瞭となる。  
天上沢は千天出合いから20分程いくとザイルが張られているので  
そこを徒渉する。

7/29 ① 4:30 TS 巻 ——— ① 6:20 北鎌沢のコル ——— ① 9:20  
独標の千天沢側トラバース終了点 ——— ① 13:40 槍ヶ岳  
——— 殺生ヒュッテ TS ① 15:30.

北鎌沢は右俣にルートをとる。北鎌沢のコルから天狗の腰掛までは  
イマツがくう. とおしい。それ以降は北鎌平まで千天沢側を大きく  
トラバースする。

7/30 ① 4:56 TS 巻 ——— ① 6:00 小槍南面フェイス左ルート取付 ———  
——— ① 10:50 登攀終了 ——— ① 12:40 槍の肩巻 ——— 14:20 南岳  
——— ① 17:50 北穂南稜テラス TS

小槍左ルートの2ピッチ目は凹角を抜けたら右へ斜上せず。水平にトラバース  
するとよいでしょう。懸垂は支えを十分に確認すること。

7/31 ① 4:45 TS 巻 ——— ① 6:20 ドーム西壁雲表ルート取付 6:40 開始  
——— ① 11:40 登攀終了. ——— ① 12:20 TS ——— ① 15:30  
白出のコル TS.

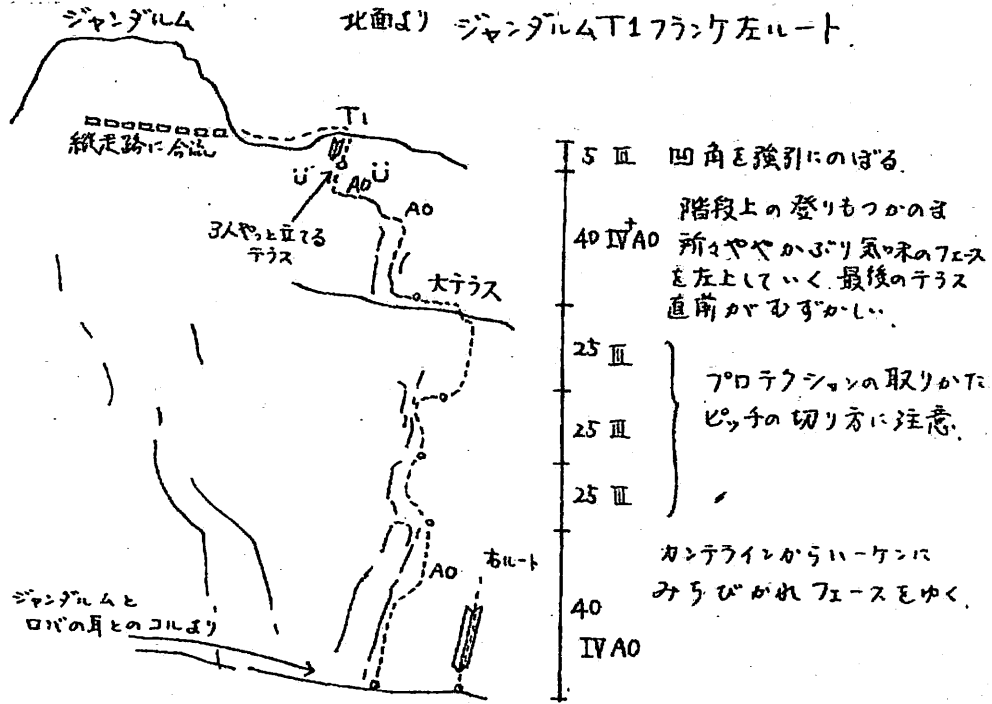
アプローチはドームと南峰の鞍部からC沢左俣の右沢を下る。  
滝谷を登るときは前日に下降突くらは偵察しておきたい。

8/1 ①5:15 TS 飛 —— ①5:45 奥穂 —— ①6:30 ジャンダルム  
 T1 フランケ左ルート 取付 6:50 開始 —— ①13:30 登攀終了 (40. 25. 25  
 25. 45. 5. 岩稜 40m) —— ①14:50 奥穂 —— ①15:40 TS.

8/2 ~ 8/5. 穂高岳山荘にてNHKのバイト 8/5 ハリコフツで新穂高  
 温泉へ下山.

登攀が終っても長い縦走が続いて、体力勝負の山行だった。

体力 ☆☆☆☆ 技術 ☆☆☆ 空腹にたえる精神力 ☆☆☆☆☆☆ (河西)



ジャンダルムのフランケには思った以上にピンがあり自分でルートとみつけて  
 登る楽しさがある。しかし裏をかえせば難しい所へ突っ込みやすいとい  
 うことである。岩登りの判断力を要求されるクラシックルートといえよう  
 ビレイ突は自分でつくるしかない。(河西)

甲斐駒ヶ岳黄運谷右俣  
 L 松下 加藤

7/31 7:40 神出発 ◎ → 11:45 五合目小屋 ○ →  
 13:10 岩小屋 ○  
 黒戸尾根はダレイ。五合目から岩小屋までの下り  
 は悪い。注意が必要。岩小屋は快適。

8/1 5:30 岩小屋巻○ → 12:30 奥のニ又手前◎  
滝を巻く場合はよく捜すと踏跡がある。  
奥千丈ノ滝は右岸にわりと明瞭な巻き道がある。  
滝が終わるとルンゼを下降して沢に戻る。  
奥のニ又手前のインゼルは左俣にルートを取ると楽。  
インゼルの上はビバーク地として使える。

8/2 5:00 奥のニ又手前巻○ → 7:40 甲斐駒頂上○  
→ 13:30 駒ヶ岳神社○  
この辺りから雪が"で"てくる。4本歯の利用をすすめる。  
直登できた滝が連続してかもしろい。奥の滝  
3段60mには左岸に明瞭な踏跡があり、登らな  
時は楽に巻ける。この滝が終わるとあとはピーク目  
指してただ"登るだ"けである。詳しい溯行図、  
資料は岳人、関東周辺の沢をよく見て下さい。  
(松下)

### 滝谷 L 兼岩, 長谷川

8/4 サマ天 — 涸沢 — 南横テラス B.C 14:30  
本場は北穂沢へ200m下るとある。

8/5 クラク尾根 — ドーム北壁右ルート  
B.C 4:50 — B沢下降 — 取付 6:40 クラク — 終了 10:10  
北壁右取付 11:40 2P ドームの頭 13:10 — B.C 14:00  
クラク尾根は、ボロボロ。特に旧Xか所のツル辺近は、  
11や浮石登りをやらされる。堅いのは、ジャンククラクと  
その後に出てくるクラクの2ポイントの2つ。  
北壁右は、1P目の大エビポイントは、多クか、おそい。

8/6 ドーム西壁雲表 — ドーム北壁左ルート  
B.C 4:30 — C沢左岸下降 — 雲表取付 5:55 5P  
ドームの頭 8:40 — 北壁左取付 9:45 2P ドームの頭  
11:30 — B.C 12:00 — 涸沢 T.P.  
雲表は、オールフリーで11ける好ルート。1P目、フリーで越  
える。部分的にレールクを使うが楽である。(IV+)。3P目、  
右上、左上するが難しくない。(IV)。4P目、サイル流  
10

れずハック下できる。SP目ハックを越えるが、ホール  
ドは、かバはおかり(V)。北壁左は、1P目フリーで  
アローしおとしたが、AOマシーンに落ちてしまった。フリーで  
5.8~5.9位だと思ふが? おそハックが、バク打されている。

8/1 涸沢下ノ——上高地サマ天

ボルダーをこして遊ぶ。  
滝谷は、標高が高いため、天気にも恵まれれば、とても  
涼しい快適な登攀が楽しめる。朝など、登っていて、  
手がこごえてしまう位だ。しかし、雨が降るとこのルート  
もエスケープが困難であり、無理に登りきった方が安  
全なルートが多いと思う。ドムへのトラバースは、さすがに  
下へC沢左俣を下るのは、とても危ない。やめた  
方が無難であろう。(記兼岩)

奥又白定着 L 松下、加藤、田尻、伴野

8/5 ① 9:00 サマ天 — ① 10:10 徳沢 — ② 14:00 奥又白池  
B.C

8/6 松高ルート L 加藤、田尻

① 4:50 B.C — 6:15 T<sub>1</sub> — 6:30 取付 — 6:50 開始  
— 5セ、4 (40, 30, 30, 30, 30) — 10:00 終了 —  
— 11:30 5, 6 のコル 13:30 — 15:00 B.C

ルートを間違えたらしい。取付は正しいと思う。ルートも  
大系の記述と似ていた。しかしハックを越えるとそこは  
縦傾斜帯だった。正確なルートはもと右のようである。

8/6 北条新村ルート

L 松下 伴野  
6:35 登攀開始 → 8:05 ハイマツテラス  
→ 11:50 縦走路 → 14:10 5-6 のコル → 16:00 T.S  
体系通りである。伴野は登山靴で登っていた。  
(松下)

8/7 松高ルート

L 松下 伴野  
6:20 登攀開始 — (45m, 45m, 45m · 3P) →

8/30 核心下部 (45m, 45m・2P) → 11:10 終了  
 12:10 4・5のコル → 13:00 5・6のコル → 15:00 T.S  
 ルートを間違えて松高ルートの方を登ったらしい。  
 しかしコンもたくさんあり、一応ルートとして完成して  
 いる。IV-A1のルートである。

(松下)

8/7 北条・新村ルート L加藤、田尻

① 5:00 B.C — 6:10 取付 — 7:00 開始 —  
 — 3ツツ (35, 35, 30) — 8:00 T.S 8:30 —  
 — 3ツツ (30, 25, 20) — 11:35 終了 — 13:00  
 5, 6のコル — 14:45 B.C

大系であり、核心部はコンがたたくさんあり  
困らない。

8/8 ① 7:00 B.C — 9:30 徳沢 ~ 10:45 サマ天

記加藤

梁ノ白池四峰正面 — 滝谷 継続登攀  
 L植垣、橋口

8/6

9:00 ① サマテン

14:20 ② 梁ノ白池

8/7

4:50 ① B.C.

6:00 ① 北条新村取付き

6:20 ① 開始 ) 2P

ハイマツチラス ) 3P

9:40 ① 終了

五峰で加藤、田尻、松下、伴野を待つ。

15:00 ① B.C.

8/8

5:00 ① T.S.

6:00 ① 松高取付き

9:50 ① 終了 ) 6P + 2Pコチ

- 11:00 ○ 5.6のコル
- 11:35 ○ 酒沢 雪渓を駆け降りる。
- 12:30 ○ 麓
- 14:30 ○ 北穂高南穂テラスT.S.  
雪が少なく、水を取るのに苦労する。

8/9

- 4:50 ○ T.S.
- 5:40 ○ クラック尾根側壁赤いバンド  
↓ボルト、ハーケンが打たれており、サニールを結ぶ。  
L2P
- 6:30 ○ クラック尾根取付き ) 7P
- 9:40 ○ 終了 北穂山荘直下
- 11:00 ○ ドーム西壁雪表取付き  
南峰とドームの間のコルをドーム北壁を左に見ながら  
さらに降り、西壁取付きのバンドに回り込む。
- 11:10 ○ 登攀開始。
- 13:40 ○ 終了  
ドームは岩が"かたくて面白い。クラック尾根のIV級  
よりドームのV級のほうが簡単である。
- 14:15 ○ T.S.  
南穂テラスをB.C.とすれば滝谷は近く、ギャラリーも  
多く、グレンドのようである。

8/10

- 7:20 ○ 南穂テラス
- 9:40 ○ 酒沢  
↓  
パノラマ
- 13:15 ○ 上高地サマーテント  
ドーム中央橋を登攀後下山の予定であったが、台風  
が来たため中止した。  
( 記. 植垣 )

穂高 屏風岩 L河内・藤江。

- 8/7 ○ 14:15 サマ天麓 ———— ○ 17:25 横尾BC
- 8/8 ○ 4:30 BC麓 ———— ○ 5:15 T4取付 ———— ○ 7:50 T2

① 8:10 登攀開始 —— ① 13:30 終了 —— ① 1600 洞沢  
 ① 18:50 BC 東稜  
 東稜は大系とおり

8/9 ① 4:15 BC 巻 —— ① 5:00 T4 取付 —— ① 5:45 BC  
 ① 8:00 巻 —— ① 11:00 サマ天

藤江の体調が悪いため雪稜は登らず。下山。  
 屏風を登り、稜を洞沢まわりで帰りにめるようになるべし

(河西)

## 奥又白池定着

L 兼岩 河西 牧野 藤江 田尻 笹森 福山  
 8/14 上高地 10:00 —— 奥又白池 B.C 16:30  
 12,3 張り目のテットが剥けた。

8/15 雨のため沈殿

8/16 BII-ネー L 兼岩 笹森 北条新村ルート  
 5:00 B.C —— 北条新村 取付 6:30 —— 終了 10:30  
 —— 5.6 のコル 13:30 —— 15:00 B.C

松高の付したたが、取付から北条新村を正しく登って11,2  
 しました。核心のルックで、笹森水 1 時間も、水は11で11た。  
 5.4 峰の下りは、洞沢側を巻くと良い。

8/16 北条新村 L 牧野 藤江 福山  
 BC 0450 - 0600 取付 0630 - (35+25+15) - 0800 IV アカス  
 - 3P - 1125 終了 - 1330 5.6 のコル 1340 - 1500 BC  
 3P 目から正しくルートに入る。T2 のあたりから取付のそば。  
 以降は大系とおり

8/16 L 河西 田尻

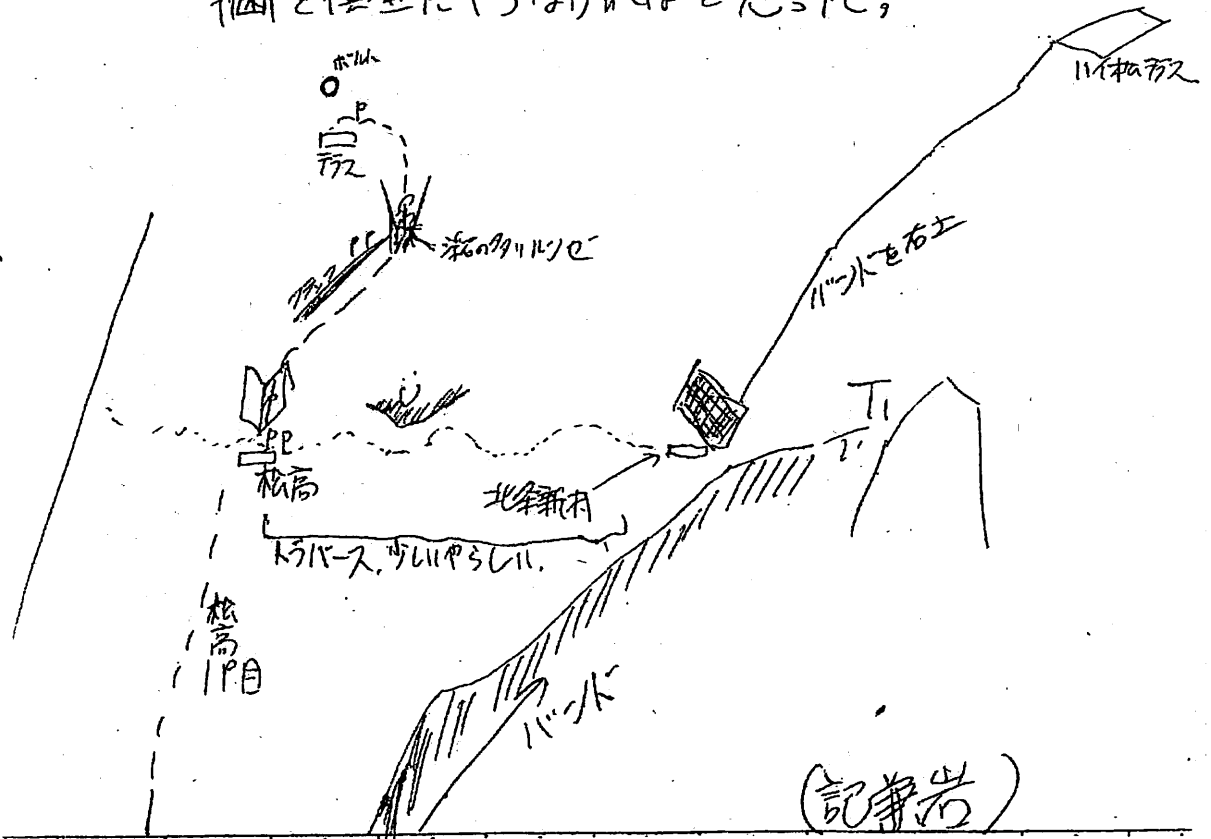
① 4:50 BC 巻 —— ① 8:30 L 字洞穴ルート取退 ——  
 ① 9:00 松高ルート取付 —— ① 12:00 終了 —— ① 13:20  
 V.VI のコル —— ① 15:00 BC

東南面の上部に L 字洞穴があることは確認できるのだが、  
 取付を確定できず、清水 RCC ダイレクトルートらしい所を1ピッチ  
 登っている。下降はクライムダウン 30m で C 沢まで、松高ルート  
 に変更し、IV 峰の下りで他ルートと合流



8/17 屏風岩, 藤江, 福山.

松高をIP福山を残して登り、ホルムを本打。懸垂。積水。●/○。1年生を連れ行く時は、天候判断を慎重にやらなければと思った。



## 屏風岩雲稜 加藤 楢

8/17 ● サマ天 14:00 — ● 横尾 T.S 16:30

8/18 ① 4:30 T.S — ① 5:35 T4 取付 — 2セツク (20,20)  
 — 雲稜取付 7:30 — 開始 7:40 — 7セツク — 12:30 終了  
 — 13:50 屏風の頭 — 16:20 徳沢 — 17:30 サマ天

4セツク目のトラバスはフレックがはがれそうである。  
 荷物を背負っての夏の屏風はきつい。 記加藤

屏風岩 東壁 ルンゼ L 兼岩, 植垣  
 7/14 上高地 — 横尾 — 東壁ルンゼ 取付 12:30 4P+コソフ  
 19:10 T4 — T2 18:00 ここでビバーク①  
 1P目 ストックツボおたので、手前からトラバースして取付く。はじめジョキングシューズで突っ込んで逆さそうになった。このルートは、ホルト・リーケンともにおぞしいので注意。リッケがとんでいるもの多し。経木残置されている) きれいなスラブで、楽しかった。T2は、ビバーク地。

7/15 ① T2 17:00 1P 懸垂 T4 — ~~4P~~ T4 取付 — ② 横尾 9:30  
 雨のため上部をやめ下降することにする。T4 取付付近でルンゼから「カッ!!、カッ!!、ゴーン!!、ゴーン!!」と岩が我々めかけておそ、ときどき死にそうになった。雨の日にT4で下降するとき、ルンゼの落石を考慮、岩のかげにおりるべきだ。ルンゼは、激流と存、21たので、左の尾根を下る。落石が当たらず本当にラッキーだった。ルンゼは、怖い。(記兼岩)

中央アルプス西横川 L 加藤, 笹森, 小久保

7/14 ① 14:30 15び平 B.C — 14:55 B.C 終 — 15:10 潮行開始  
 — 16:00 30mの大滝 16:20 — 18:00 B.C

7/15 ① 10:20 B.C — 12:15 15び平

7/14 ほとんどしか登、ていないが、川幅が広くきれいな沢である。小滝や十メ滝など変化があり完全に潮行すれば面白いと思う。

記 加藤

文部省登山研修

大雪山岳部リーダ- 夏山研修会  
 参加: 植垣

8/25 ) 研修所内での講義・実習。  
 26 )

8/27

8:45 @ 室堂

10:10 | 別山乗越し.

10:50 | 剣沢

13:45

} 別山の岩場にて確保技術の練習.

17:00

8/28 剣御前の岩場で確保技術の練習, 登攀.

8/29 剣尾根に4北壁

↳ 近藤 国彦, 田中(上智2年), 山中(東海2年)

柿原(東京歯科3年), 植垣(信州2.5年)

5:20 @ 剣沢 B.C.

7:20 @ 剣岳

8:50 @ 池, 谷乗越

池, 谷がリーを降りる. 雪が少な<非常に悪い.

10:00 @ ドーム北壁ベルナ取付き.

10:20 @ 南始 ) 2P

北橋ルートに合流 1Pで大バンドへ,

近藤登るが非常に悪く降りてくる.) 1P 懸垂

ベルナ. 北橋 交叉点 ) 2P

R4 に合流 ) 5P

19:00 剣尾根稜線

登攀中は常に近藤リード. トップで植垣. 山中が続ぎ,  
それとそれに田中, 柿原が"つく"という方法で. 人工部分  
では 1P 1時間半もかかるゆくりしたものがあった.

) コンテ + スタカット 約 15P

稜線

8/30

1:50

池, 谷乗越し B.S.

8/30

8:00

@ B.S.

本山峰

12:30 @ 剣沢 T.S

17'

8/31 9:30 O 下5  
12:00 O 室堂

\* 実力ある講師、日本のトップクライマーから学ぶことは非常に多かった。他大学との交流も楽しかった。正しい確保技術などを取り入れるためにも毎年参加すべきだろう。  
剣尾根の稜線から見た富山の灯りと剣尾根の頭にかかる月が印象に残っている。  
(植田)

全国山岳遭難対策協議会の報告 河口湖・富士エコーホテル (1990.6.20~6.21)  
河西貴史

全国遭対協は毎年各県持ちまわりで、文部省、日山協などが主催して行われている。文登研での研修会とは性格が違い、現場の技術講習はなく、遭難の傾向、防止と登山にかかわるあらゆる人々(大学、高校、警察、山小屋関係者)が検討し、今後の遭難防止に役立てようというものである。いずれにしても現役の大学山岳部員は私人であり、主催者側がどこまで現場の意見、見解を取りあげようとしているかは、いささか疑問であり、この遭対協でなにかを持て帰ろうとする熱意は参加者全体を通して希薄であった。

今回の主なテーマは“中高年”と“集団登山”にあり大学山岳部にはほとんど関係がなかった。しかし、若年層が山から離れているかという点、決してそうではなく、組織としての束縛をさらし大学山岳部や、社会人山岳会に加入しない者が増えているという報告もあった。これらの登山者も一旦事故を起すとその処理能力がなため、周囲に大きな負担をかける例もあるようだ。また大学山岳部の中でも山行を計画してから下山するまでの事務的な手続きをおろそかにしているところも多し、この意見も警察関係者の間に多く聞かれた。これらの話しをまとめると、組織の実力というものは難しいルートや、厳しい山をやるというだけでなく、事故の場合の救助能力や、“下”での事務処理能力まで含めて考えなければいけないということだ。我々としてもあたりまえのことをさらりとこなしていかなくてはならないことを再確認する必要がある。下でのことを決断してあげよう。妥協で済ませなければいけないのである。

全体をまとめ、文登研の講習ほど出席する価値はないが、年度によっては  
大学山岳部を主要テーマにすることもあるので、内容が適切なら参加する  
のもよいでしょう。来年は長野県なので、高い宿泊費を払わなくても済み  
そうです。

又責、河西貴史

## 夏合宿

8/21 Aパーティー 黒四谷 - 内蔵助平  
黒四谷 植野 酒 長谷川 帆 藤江 伴野  
黒四谷 08050 - 内蔵助平 14300

感想 キスリングの重さと暑さでかたやバテした。  
明日は今日よりも山に慣れようというので、  
今からドキドキしている。 伴野

Bパーティー  
黒四谷 植野、兼岩、加藤、橋口、笹森  
黒四谷 08050 - 内蔵助平 15100

今日はバテしまし、また荷物をもてもらった  
暇がくだらなくて苦しいが、明日が山ということ  
なのでしかりのぞみだ

8/22 Aパーティー 内蔵助平 - 熊の岩  
黒四谷 植野 酒 加藤 藤江 伴野  
内蔵助平 05150 - 1055 真砂沢山 11200  
熊の岩 17100

今日もつづいてバテ、たげなかつた。  
明日からはがんばって登りたい。

8/22 Party 内蔵助平一熊岩

L小久保植垣兼岩長谷川 田尻橋口伴野

内蔵助平 0515 @ 一ツ葉越 0930 - 真砂沢 10:20 - 熊岩 3:10

感想

今日はアツアツか 諸子か 以下、昨日

お土産もたせたい。Lは 17時頃 - 後半

はてた。橋口とLの強エにおとすかエエ。

8/23 Aパーティ - L 浦山 笹森, A Face 魚津高ル+

B.C 6:30 - 7:30 開始 - 4P - 9:40 終了

ルートは大系どうり。岩は大変かた。ピンは大概良くまわっている。

8/25 Bパーティ - L 小久保 伴野  
剣稽会ルート

B.C. 6:40 - 開始 7:20 - 終了 9:20

3P 目録 ナイフの下のまわしてまわすだけ  
のまわした方がいいてしまふ

8/23 Cパーティ - L 牧野, 田尻 (D Face 久留米大)

B.C — 登り始め — 終了  
6:25 7:25 9:40

Dパーティ L 植垣 兼岩 (Face 剣稽会 ~ D Face 久留米)

B.C. 6:15 - 剣稽会開始 7:10 - 終了 8:10

- 久留米大取り付き 8:50 - 開始 9:10

- 終了 10:35

剣稽会は大系どうり。クルトは2P(45-45)で  
バンクの真下まで。ピンはやたらとあり。A0でいい。ここから2Pで終了。

8/23 Eパーティ - L 河西, 藤江, 富山大ルート

6:25 BC — 7:10 開始 — 10:40 終了

ピッチの切り方をまちがえるとザイルの流れが悪くなる

8/23 F パーティー — L 加藤 長谷川 橋口, 中大ルート  
6:30 BC — 7:30 開始 — 3ピッチ — 8:50 終了  
1ピッチ目で魚高ルートに合流してしまつた。

8/24 A PARTY L 浦山, 田所 (C Face 剣後会 - B Face 京大)  
6:15 剣後. 始 — 8:30 終, 9:15 京大始 — 10:50 終  
・40m ほど、21世紀体系より2P 余計に登りつた。京大は2P 目体系とうりにあるFace  
に突進するがピッチが長く7Y ほど、左に巻いてリッジに上るが不正解。

8/24 B パーティー — L 小久保 河西  
BC 5:15 — A Face 魚津高 (8:15 開始 — 9:30)  
D face 久留米大 (9:00 開始 — 11:20 終了)  
魚津高は1P 目カンテに登らず右へ行くとIV 級くらいルート  
がある。久留米は左へ行かぬように。

8/24 C パーティー — L 牧野, 兼岩  
6山峰 D Face へい = + ~ A Face 中大  
B, C — D Face — A Face  
(5:15) (6:15 ~ 7:45) (8:50 ~ 9:45)  
後牧野は雷訓練隊, 兼岩はFix 隊と一緒。

8/24 D パーティー — L 長谷川 橋口  
B フェース 京大 — C フェース 剣後会  
BC — 京大 — 剣後会  
(5:15) (開 6:10 — 終 7:25) (開 8:30 — 終 10:10)  
3P (40 + 30 + 45) 4P (45 + 45 + 45 + 45)  
京大は2P 目よりリッジに出た。大系では3P 目からリッジに  
出たよう。高度感があり、岩がたかくピッチも多く楽しい。IV 級

8/24 E パーティー — L 加藤 伴野  
A フェース 魚高 ~ D フェース 富山大  
魚津高 (6:05 開始 ~ 7:30 終了) — 富山大 (9:00 開始 ~ 11:50 終)  
富山下はルート中浮石が多く、アイルがすれて落とすかもしれないので  
注意が必要。

8/24 フンネ Fx 隊 (6峰登山後)

L 浦山, 河西, 兼岩, 田尻

11:15 ~ 15:20, EFace 頭下りに15m, Gc d トラバース前11:15-2に10m

池の谷から下4口に2m. (残置物, シュリンケ7, H-4=3, ホルト2)

24日 ザクアセの藤江と腹痛の怪はチン

8/25 A11-ター L 浦山, 加藤

北条, 新村 ~ Gc d ニー cd トラック

8:45 北条, 新村登ハン開始 - 3セツク -

10:15 中央バンド - 10:30 Gc d トラック - 2セツク -

11:15 終了

北条, 新村は2セツク目は3級以上あると思われる。

核心部はA0で抜けた後の凹角が大きい。

8/25 B11-ター L 小久保, 牧野

43系 左後線ルット

4:50 B.C - 6:20 シノ窓 - 7:10 開始

9:15 T5 - 11:20 終了 - 13:30 B.C

T5までは7P, T5からは4Pで終了

大系では14PだがII-III級の所は好きに登れり。ルットが長いからきつい。

8/25 C11-ター L 兼岩, 伴野

中央4=左2は魚津高のGc d ニー - C.d トラック

B.C (4:50) - シノ窓 (7:00) - 魚高開始 (8:00) - 中央バンド (9:25)

Gc d 開始 (9:55) - チンネの頭 (11:10) - B.C (13:30)

魚高のトラバースは、ホールドが浮石だらけで心なし。トラバースの手前で切った方が、サイルが流れる。1年を運れなくてここでできない。

Gc d は、楽しかった。



D/A-~~テ~~長谷川 笹 (腰痛のため4テン)

8/23 E10-~~テ~~ 〆 河西 藤江

4:50 BC - 6:35 三の窓 - 7:30 北条新村取付

9:45 中央ポイント - 11:10. ~~G14-<sup>1</sup> C. Bクラック~~

終了.

北条理 - はや、ほりエライ、核心 A0.

8/25 f party 〆 橋口 田尻

f1ネ - 中央f1ニ - G14ニ - C, Dクラック

BC 4:50 - 三窓 7:00 - 中央f1ニ 開始 7:50

中央ポイント 8:50 <sup>G14ニ</sup>クラック 開始 9:10 終了 10:10

中央f1ニ - 2pitch <sup>G14 C, D</sup>クラック 2pitch

中央f1ニ - のでだしはかんたんなので approach とまちがえてし、可能性のあるカモビレイ点がないのた。f1ニ - の中にいるとフチ、フチのして右のリップホックをいれかいて、G14ニ - は途中から右と右のバンドにかわる f1ニ - の上をどんどんとくらくにはいって、くので注意。

3/26. 本隊 (剣本峰 attack)

L: 浦山. 河西. 加藤. 橋口. 笹森. 伴野

Fix 隊

L: 小久保. 長谷川. 田尻

5:05 O B.C 発 - 6:30 O 長次郎 雪は末端付近のストリークは崩壊してため 源治郎 縦走は断念、予定を変更して本隊は fix 隊ととも長次郎 左保利 本峰を往復。

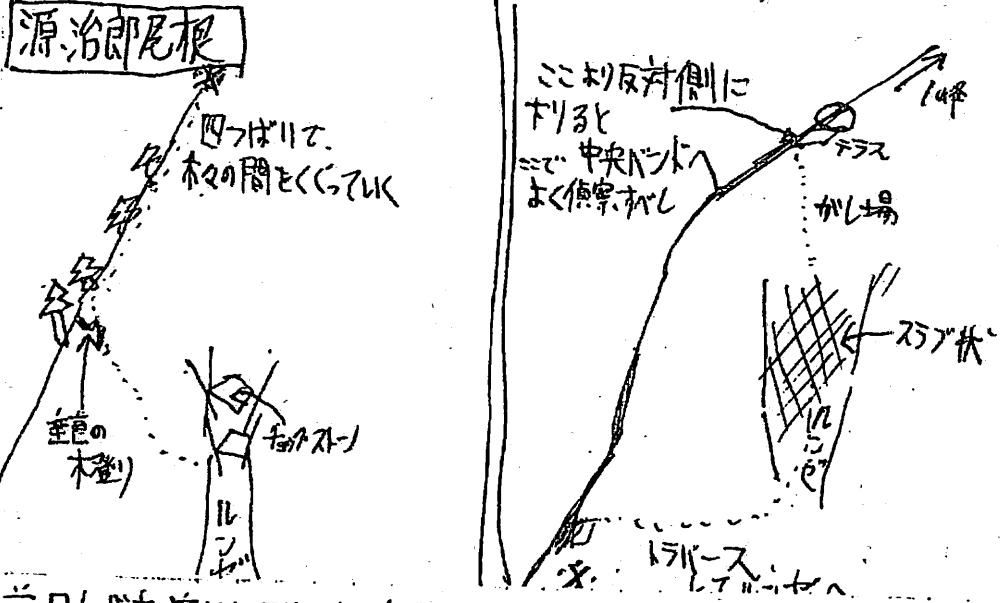
8:45 - 9:45: 雪割 (キックスリッパ. クリート. 滑落停止)

10:30 O B.C 発 - 11:45 O 本峰 / 12:15 - 13:45 O B.C 着

長次郎 左保利 は雪はすぐに消え失せ、カレ端だけが残った。全7人が浮石でとてつてつて

8/26 登攀隊 源治郎二峰平蔵谷側 名古屋木  
 L: 牧野, 兼岩

B.C (5:00) — 源治郎取付のレシセ (6:30) — 枝尾根 (8:10) — 登攀開始 (9:05)  
 11P 1峰頂上 (14:10) — 剣本峰 (16:00) — B.C (16:50)



前日ヒザを痛めたアジは先登

8/27 Aパラン - L. 浦山 長谷川  
 左稜線

5:05 BC - 6:20 ミノ尾, コレ - 7:20 左稜線下部 9:40 -  
 10:45 左稜線上部 12:10 - 13:25 BC

下部 6P 上部 4P. 下部のヒヤクは右まき, まかないほう  
 がよもしろい。下部は土はヒヤクもろくないけど,  
 上部はよもしろい。 記長谷川。

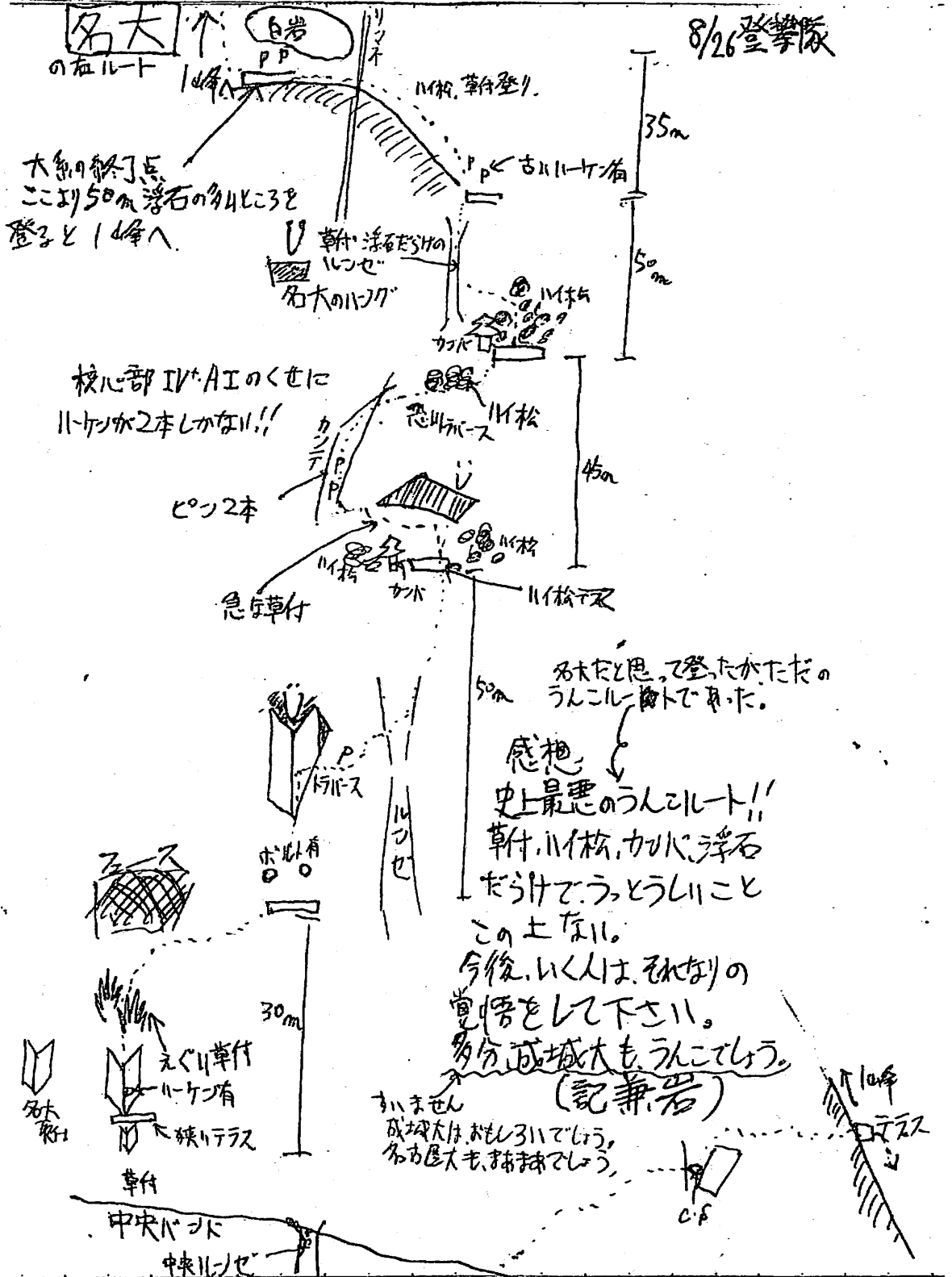
8/27 Bパーティ - L. 小久保 加藤

左下カンテ ~ 左方カンテ

7:30 左下カンテ取りつき - 7:50 開始 - 4センチ -  
 - 9:15 中央バンド 9:50 - 左方カンテ登心開始 -  
 - 1センチ - 左稜線 3センチ - 11:10 千ネの頭

左下P>Fは大系であり。右方P>Fは45mで核心部は終り5mほどで左縦線に出る。

8/26 登攀隊



名大だと思て登ったがただの  
うんこルートであった。

感想  
史上最悪のうんこルート!!

草付、11松、カハに浮石  
だらけでうんこらしいこと  
この上ない。

今後、いく人は、秋の  
覚悟をして下さい。

多分、成城大も、うんこでしょう。  
(記兼岩)

おれません  
成城大はおしり引でいう、  
名大も、おしり引でいう、

8/27 Cパーティ - 牧野 笹森 北条新村 ~ aバツ坊  
Eパーティのおしりに金魚のフエのブリに ~~て~~ <sup>く</sup> <sup>ら</sup> <sup>い</sup> <sup>て</sup>  
登った。

8/27. Dパーティ - 河西 伴野

5:00. BC — 7:05 三の窓 —

— 7:50 中央千ム — 取付 — 9:50 左方カ行取付

10:20:3 登攀開始. — 13:15 千ムネの頭

中央千ム — は取付から10mほどフリーソロすれば2pで  
おわる。一年生なら天系とおり3pか7に方がよい。左方カ行  
は1p目40mい、ほいのほくと左稜線直下のビレイポイント  
にて登る。そこから左稜線までいける。

8/27 Eパーティ - 兼岩 橋口 田尻  
北条新村 ~ Aバツ bクラック

北条新村開始 (8:00) — 中央バツト (9:50) — Aバツ bクラック開始 (10:20)

— 千ムネの頭 (11:20)

左稜線は、先行2パーティのため中止。

北条新村は、フリーでいけず、岩登りを楽しんだ。

前日にひきつづきフジエ アンテン

8/28. A PARTY - 三浦山 伴野

BFace: 京大 ~ AFace: 中大

① 5:55 京大始 <sup>(37)</sup> ② 7:05 終了, 7:40 中大始 <sup>(47)</sup> 9:30 終了

- ・京大は2p目の白い岩が見る頃ヒンに導かれて左のカンテに入るとオシイ。環して体系とワリに右のFaceに行っているらしい。ホロホロ。私は剣後会到此らのリフト77タイムの方が快適と思う。
- ・中大は左か右かガッツの入るルート。しかし1pで核心は終りしほう。2人立てる行方がなく、ツルバで登らぬならヒレイ用にアツカが良い。

8/28 Bパーティー - L 小久保 藤江  
Aフェース 中大 ~ Cフェース 剣橋会 ~ Bフェース 京大  
中大 開始 0545 - 3P - 終了 0650  
剣橋会 始 0730 - 6P - 終 0905  
京大 始 1020 - 3P - 終 1135  
中大1Pが終了した時 すでに魚津高に合流して  
しまった。左ハト反バスせず直上なくてはならない。大江

8/28 Cパーティー - L 牧野, 兼岩, 橋口

Cフェース 右方 ~ Aフェース 中大  
右方 開始 6:00 ~ 終了 7:45 - 中大 開始 8:45 ~ 終了 10:20  
右方は、下部にピンなく、フリス・ナツが必要。ないのなら、やさしいウエッジを選んで登るべし。岩は、基本的に堅く、楽しいルート。終了間際は、浮石多し。(記兼岩)

8/28 Dパーティー - L 松下, 加藤

Cフェース 剣橋会 ~ Dフェース 久留米大  
① 5:30 剣橋会 取り付け - 5:45 開始 -  
- 4セック - 7:15 終了 - 8:00 久留米 取付 -  
- 8:10 開始 - 5セック - 10:25 終了

久留米は1セック目 50mで中央バンドに届く。  
4セック目はピンが少ない。

8/28

Eパーティー - L 長谷川 唯森

Dフェース 久留米大 - Cフェース 剣橋会

5:05 BC - 6:05 久留米大 9:00 - 10:30 剣橋会 12:30  
- 14:00 BC

剣橋会でツボ、2つ目の唯森にあるウエッジをした。  
一母峰と登る時は、もっとしんどうにタッチはたさない。

8/28 F110-テ1 - L 河西、田尻 (C右方~B京大)

①: 5:05 BC — 5:40 C face 右方ルート取付 —  
— 6:05 登攀開始 (30, 40, 35) — 8:05 終了 —  
— 8:20 B face 京大取付 — 8:39 開始 —  
— 10:00 終了 — 11:00 A face の岩小屋 —  
— 14:00 BC

右方ルートは 2p 目系よりさらに右に行く。フレンズ  
は必要。最初はピンポイントで、あとでベタ打  
京大は バットレスの4匹狼より爽快

8/29 全員 熊の岩 - 剣岳 - 剣沢 - 真砂沢 D. ち  
BC — 剣岳 0800 - 真砂沢 D. ち 1445  
長次郎が下れそうになるので本峰経由となる。  
雪の多い長次郎はコルまで上がるのも浮石だらけ  
で面倒である。フジ

8/30 A110-テ1 - L 浦山 松下 河瀬 加藤 田尻 藤江 伴野  
真砂沢 - 黒四ダム  
真砂沢 0525 - ハコ谷 0705 - ダム 1345

B110-テ1 - L 小保 牧野 兼岩 長谷川 橋口 笹森  
真砂沢 - 黒四ダム  
真砂沢 0530 - ダム 1440

エッセイの反省

準備の時、手間どたり、山行中に昼食、レジャーが多かたり少なかり  
で迷惑もかけてしまった。

食事自体は、昼食が、E-スリで一括してのり。今までと毛色のちがった  
ものが出て、まどってしまった。登山中はほとんど昼食はいらないので、毛色  
しきもいかにしきない。夕食は、量も充分で、具はほとんどはあったが、その分重  
ないかもしない。肉は、あらかじめしたためか、鮮度に多少し目を配らなければ  
ならない。朝食はいつも通りであったが、マホテカが好きであつた。自分でもほく  
できておもう。

(田尻)

# 会計報告

収入  $18000 \times 12人 + 5000(おんかじり) + 8322(植込) + 8707(松下)$   
 $= 238029円$

支出 元場代 5000円 1人 385円

装備 28227円 1人 2171円

Iセ 85352円 1人 749円

交通 101496円 1人 3904円

残高 17954円 → 松本の部費

\*植込 装 2171 + Iセ 2247(749x3) + 交 3904 = 8322円

\*\*松下 装 2171 + Iセ 2247(749x3) + 交 3904 + 元場 385 = 8707円

## 装備の反省

今日は合宿中にフスが2台もこわれてしまっ、essen  
 中フスが三台しか復さないはねになった。準備中は、  
 調子がよかつたのが、装備係として、フスの修理に  
 関る知識に欠けていたと思う。

タリカ 6本

「シザイル

ハケン ケーブ 2 (fix用)

クモリ 1

フワ 2

ボルト 2 仮置  
(fix用)

ガス消費量 76cc/日・人

XX 78本 1日毎に 8.7本

ローヤ 0.09本/テント日

## リーダーの言葉

残暑は未だ残るものの、今年もまた夏は終わった。合宿中連日天候に恵まれたことは近来希なことで、1,2年生にとっては本チャンの岩登りを数多く経験する良い機会であったと思う。今年はリーダー部員の数も多く少しフィールドを広げてみようと考えていたが、長次郎谷の雪渓崩壊という予想外の出来事があったため身動きが取れず、八ッ峰とチンネという上級生には相変わらずの剣でいささかマンネリの感があったことは否めない。

1,2年生はこれをもって登攀技術の基礎はマスターしたということにするのでこれからは岩トレ等を通じて更に完璧を目指してほしい。そして未だ返事の出来ぬものがあるが、意思の疎通は登山をする上で最も大事なことなので疎かにせぬようにすること。冬は意外と早くくるもので各自早いうちからトレーニングに励むように。

D.S. 長次郎谷雪渓崩壊により下山は2日を掛けて、本峰経由で剣沢を下ったが、これは計画書記載外の行動であり、またBCからもっとも早く確実なエスケープである室堂が記入されていなかったことは反省すべきことである。

## 浦山

夏山を思いやり登れ子のは今年が最後に存子たろう。日数は多く入ったが、バトロの山行などで内容的にはあまり楽しくなかったが世の中いる人を登り方があるものと新しい発見ができた。夏合宿はわがままを聞いてもらい、登りたいルートも多く登ることについてみなさまに感謝しております。今宿などで1,2年に負担をかけすぎたのではなにかとも思います。これからは自分のためになったと思、こくたさ。これからはいよいよ冬がやってくよ。気合を入れて、楽しいシーズンにしよう。は存子まい。

## 小久保陽介

夏休みに集中講義があったために思い切った山行ができずに残念であった。唯一の黒部上/廊下も風邪のために中止になりた。奥感に欠ける夏休みであった。しかし全員事故もなく無事に夏山を終えることができたのでよかったと思う。(松下)



この夏は天気が良くてよかた。合宿も毎日  
岩登りができてつかえたけど楽しかった。(牧野)

今年の夏の山行は、ほぼ予定通りになすことが出来  
かなり充実したものとなった。しかし1年生と岩登りが出来  
なかつたのが残念である。(植垣)

自分の登攀をふりかえって感じることは、スピード不足とルートファインディング  
の未熟である。スピードとは単に登っている時のものだけでなくピッチをどこで  
切り、ビレイ点をどのように作るか、ルートファインディングは大系なりを参照  
しつつ次にどのような所がでてくるか、また登りやすいラインを目で追って  
いって予想を立てることも大切である。これらは大系をうのみにする姿勢  
では身につかないものなので、1、2年生はこれからそのことを頭にお  
いて登って下さい。あと山スキーをしたい人は十石峠へかまよしょう  
(河西)

### 夏山・夏合宿の反省

奥又で天候を読み違えてしまった。一年を連れて  
いるときは、もう少し慎重になつた方が良さと思う。  
合宿では、個人山行と同様な行動であった。天気が  
するが、も、とケツ弊メをつけ、厳しくした方が良かった。  
晴天に望まれ、たくさん登れたが、また、フリーの力が  
ついておらず、残念であった。秋は、力を付けるのに良い時  
期でもあり、自分なりにがんばつてみた。 (兼岩)

## 夏の反省と感想

この夏は多くの山行をこなして充実したものであった。一方個人山行の疲れがとれぬまま合宿に突入し、入山にはキスリングまで背負いささに疲労してしまつた。登ハンは天候にも恵まれて快適であった。リードするときはプロテクションのとり方やセムのチェックなども、慎重に行うべきであった。速さも大切であるが、第一は安全である。何はともあれ無事に夏の山行を終えホッとしている。

### 加藤

山に対する慣れから気が弛むところが多かつた。特に夏合宿で一年中をフボラにしてしまつたことは深く反省している。どんな山行であっても緊張感を持つておたすようにしなくてはならない。

### 長谷川

夏合宿は、天気も、最初のうちは風がつかまらなかつたので、あとはかまされずでよかった。今後は、去年と同じペースで登る。残念。登りで大事故は合宿でも、個人山行でもなかつたが、奥又は五峰の正面壁北縁新で、ちよとこい思ひはた。あと、縦走で登った甲斐駒はよかった。(田尻)

今年の夏は、ほとんど山ばかりい、ておまゐるし、かつた。そのため、ついつい山行について事前の準備や地域研究が、充分でなかつたように思つた。また、連続して山へい、ちよとこい思ひ山行に対して、いほ、フ登高意欲と欠いてい、たと思つた。

(ほい)

縦走以降体調をくずしたため個人山行をこなし、合宿に突入してしまつた。その結果パートナーにケガをかけ、登ハンの本数もかせぐことができず残念だ。

フエ

## 夏の反省

縦走一、長い山行であったが、体力的にも精神的にもきつかった。か、橋が段々近づいてくるのは、うれしかった。

奥又白池では、結局1日しか登ることはできなかったが

その日は、長く悲しかった。もっと人工の練習をしなければ。

夏合宿一、入山、下山では、体力的なことを痛感した。重い荷物をもつにはもっと筋力upをほからなければ。登攀では、なかなか楽しかったが

体調をくずしていた2日間は、もたいたかった。

夏を通して、体調があまりよくなく、夏合宿で苦しい思いをした。

普段から体調には、気をくほりたいと思う。

世森 達也

反省文

伴野 達也

南ア縦走では1年2年の山行ということでは甘えのようなものがあった。エッセンでの基本的なことが拵拵身についていなく、今のエフテキパキとできなかった。それと、天気図を見壁にかけるとおろおろしてはダメだ。夏合宿で1度かく機会があったが全然かけないことばかりだった。

## 作文コーナー

### 作文

信大うんこルート 完登!!

源治郎一峰平蔵谷側上部にあるこのルートは、素晴らしいの一語につきる快適なものである。これを日本の岩という草付、ハイ松、カブ、浮石、が、次から次へと現れ登る者を飽きさせない。残置ハーケンは、全部で10本位と極めて少なく、フジ等を利用したプロテクションを自ら作る喜びをもてるルートである。このルートは、大系にはのっていないがかなりの数のパーティーが登っている模様で、隠れた人気ルートと言えるであろう。名前は、まだないようなので、牧野、兼岩により、信州大うんこルートと決められた。これからは、夏合宿の必修ルートとして、登らねえと思うが、ケレンで充分なトレーニングを積んでから挑まれたら、

“チェ” “うんこのバカヤロ”  
(TEAM LALIPAPPA 兼岩)

# ひとよつの血の思ひ出

河西貴史

北鎌尾根は妙なる人の為。前々昔は文太郎やアキウの伝説を生んだが  
その気質は今もかわらず全国津々浦々から危険な岳人たうをひきつ  
けている。それはそうと、私はあと少しで槍の穂先というところにも  
思ったか鼻から鮮血をブチまけ座りこんでしまった。これは北鎌  
を登るための「血の試練」だめと思っていたがどうもそうでは  
ないようでそれから穂高の岩場を血に染めつづけた。

大キレットから滝谷を見たときに-----、滝谷のアプローチで-----  
谷さかりの奥穂の頂上で-----、そしてとどめは坂巻温泉の  
湯舟の中で-----。それでも大正池でボートに乗って  
サマ天でビールを飲んだらウソのようにとま、たのだから  
これみよサマ天さまたまみであることはいうまでもない

随想

免許について

田尻

三月廿五まで八時間程オバケの上で修験を落とせ、自働車に対して  
失望していた私であったが、7月某日ついに修験をパス。路上に出る車  
運転が楽しみをおぼえる様になった。そして9月にはおと未だに仮免で  
ある。知っている人は知っているが、9月より免許制度が厳かになるぞで  
ある。どうなるのか詳しく知らぬが、私は積極的に違法な度胸も運転  
技術もなしたぞ……。それは早く、早く免許とるぞ車とる。自働車は  
悲しくおとま伊布イブを脱した。い。

追伸 ..... 定で私のことを誤解する方もある様を計と、私はさほど  
人間ではあらずと

作文 山と嗅覚について。

人間の体というのは、耳をとると鼻が 匂うようになるらしい。  
特に、肉食を主とする 欧米では、その匂いを けすために、男性用の  
香水もかなり 出回っているらしい。そして日本人の間でも 食生活  
の変化から、匂いを 発するようになったらしく、男性用香水の 需も  
のびているようだ。しかし、そういった 欧米のお年寄りも、もっとすばら  
しく、香水をつける 価値のある人間がいた。— そう 夏合宿の下山時の  
山岳会の人々である。帰りの トロリーバスの 廻転音を見るまでも  
なく、あの 雑巾のくさった臭い、あの、一 般人にたいして たいへん、  
失礼である。— 提議、夏合宿には 香水を。  
とくにしても 合宿のたびに、修学旅行で おとすかた 地を再訪している  
とみて、2年前を おもいだすたびに、今の自分が 何を求めているのか  
わからなくなってくる— ああ 悲し。

笹森

作文

伊野達也

今年の夏は山、山、山であった。信じら  
れないくらいに山行をこなした。最高に  
充実した夏だった。

南ア縦走はつらいものであったが、楽  
しいこともいろいろにあった。山頂で食  
たスイカ、パイナップルはとてもうまい。  
お花畑に感動した。星もきれいだった。け  
れど、今 思い出して一番楽しいのは西  
沢渡の登りの地獄の苦しさ。みんてた  
らう。

夏合宿の 知での岩登りは、僕に岩から  
の眺めがすばらしいということを初めて  
教えてくれた。最初に登ったルートが VI 峰  
C フェース 剣稜会ルートで、リッジにでた  
ときはモーリツに感動した。

'90信州大学山岳会夏山報告書 印刷發行本